

## 情報サービス部会 部会事業

# 「ChatGPTを知ろう・触れよう」をテーマにセミナーを開催

情報サービス部会（部会長：松本泰（株）舞鶴市民新聞社代表取締役）は、2月6日に京都コンピューター事業協同組合理事長の桂田佳代子氏を講師に迎えてセミナーを開催し、部会員6人が参加しました。

「ChatGPTを知ろう・触れよう」をテーマにChatGPTの概要と主な問題点について講義いただいたあと、ChatGPTに実際に質問を行い触れていただき、これまで一度も活用された経験の無い方や既に活用されている方にとっても学びがあり、とても有意義なセミナーとなりました。

また、セミナーでは、参加者と講師の方とで活発な意見交換も行われ、このセミナーを通じて参加者同士

が情報を共有することができました。今後も部会事業として持続可能なビジネスに活かす取り組みにつなげていきたいと思っております。



「ChatGPT」について理解を深める部会員(2月6日:加寿美)

## 食料品・水産部会、料理飲食部会 合同事業

# ～海の恵みを探る～ビジネスの可能性を拓く～

食料品・水産部会（部会長：田中信男舞鶴水産流通（協）顧問）と料理飲食部会（部会長：松井恭子（株）東舞鶴グランドホテル代表取締役）は、食材に関する業界の最新情報の収集を主な目的として、2月21日、大阪で開催された「第21回シーフードショー大阪」への視察事業を実施し、両部会から9人が参加しました。

シーフードショーでは、BtoBの展示会として国内外の海産物生産者、加工業者、販売業者が出展し、最新の商品や技術の紹介がありました。また、セミナーも開催され、業界のトレンドや課題について議論が行われました。特に、新鮮な魚を消費者に届けるために、漁獲された魚を急速凍結し長期保存できる最新技術の紹介が印象的でした。

参加者は、専門家や同業者との交流を通じて、「新

しいアイデアや商品開発に工夫を凝らすことは、競争力を維持し、成長を促進するために大切である」などの感想があり、ビジネスに役立つ知識や情報を得ることができました。



ビジネスのヒントを学びました(2月21日:ATCホール)

# 「金融・理財部会」が 研修会を開催しました

## ～舞鶴市の商業施策について～

金融・理財部会（部会長：公文一徳京都北都信用金庫常勤理事・東舞鶴中央支店長）は、2月26日に加寿美で部会事業を開催しました。講師に舞鶴市産業振興部産業創造室長の山本仁士氏をお招きして、部会員8人が参加しました。

今回の研修会は、昨年の当部会の役員会において、「市長交代もあったことから、改めて舞鶴市の商業施策についてお聞きする機会があれば」という要望を踏

まえて開催したものです。研修会では、山本室長から最近の商業施策の取り組みと、今後の計画をご説明いただきました。京都府北部の近隣市町との対比や、企業誘致の取り組み、市内企業の紹介活動や新たな産業振興プラットフォームの取り組み等を詳細に説明いただき、会員からは1次産業への支援体制や宿泊・観光事業の現状分析等について質問があり、活発な意見交換が行われました。新規で入会された部会員からは、「舞鶴市の商業施策の説明を通して、舞鶴市の現状がよく理解できた」との感想もありました。

当部会では、今後も舞鶴市等の行政関係者と情報交換を密にして、会員各位の意識高揚に努めてまいります。